## 【推計障がい児・者数データ及び障がい児・者事業所に関する分析】

- 1. 全国の推計障がい児・者数データを集計、分析しました
- (1)障害児・者数の障害種類別割合は、年齢区分毎に異なる









- ①障がい児(18 歳未満)は知的障害が 72%と最も多く、次に身体障害が 23%と続き、精神障害は僅か 5%となっている。
- ②障害者・年齢区分 18 歳~64 歳は身体障害が 45%、精神障害 30%、知的障害 25%となっており、障がい児に 比べて、身体障害、精神障害が増えている。
- ③障害者・年齢区分 65 歳以上は、身体障碍が 89%と大部分を占めており、知的障害 4%、精神障害 7%となっている。高齢者になると加齢のため身体障害が大幅に増えている。

## (2)障害種類別に障がい児・者数をみる







- ①身体障害は、高齢者(65歳以上)が75%を占めており、障害者18歳~64歳が24%を含めると障害者(18歳以上)が98%と大部分を占めている。障害者は年齢を経ると増加し、特に高齢者になると急速に増加することが判る。
- ②知的障害は、障がい児がそのまま障害者の知的障害となるだけで、年齢を経ることにより増加するものではない。
- ③精神障害は、障害者 18 歳~64 歳が 74%を占めており、高齢者 (65 歳以上) が 25%を含めると障害者 (18 歳以上) が 99%と大部分を占めている。障害者は年齢を経ると増加することが判る。

- 2. 全国の障害福祉事業所の施設数、定員数、利用者数を集計すると共に、推計障がい児・者数との対比を行いました。障がい福祉事業種別毎に、障がい児・者の利用率を算出しています。
- (1)障がい者福祉事業において下記の事業種別が障がい者の利用率が高い
- ①生活介護(14.0%) ②就労継続支援 B 型(9.3%) ③施設入所支援(7.8%) ④居宅介護(5.8%) ⑤共同生活援助(5.2%)

障がい者		障がい者_事業所データ				推計障がい者数				
事業種別 コード	事業種別名称	事業所数 2020年6月	利用定員 (C)	利用者実 人数(A)	回転率 A÷C	身体障害者数 (18歳~69歳)	知的障害者 数	精神障害者数	障がい者総 数(B)	利用率 (%) A÷B
11	居宅介護	17,665	0	224,543		1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	5.77%
12	重度訪問介護	15,622	0	41,820		1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	1.07%
13	行動援護	1,938	0	11,112		1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	0.29%
14	重度障害者等包括支援	15	0	25		1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	0.00%
15	同行援護	6,439	0	31,289		1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	0.80%
21	療養介護	234	19,043	19,934	1.05	1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	0.51%
22	生活介護	9,251	239,394	544,254	2.27	1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	13.97%
24	短期入所	5,242	29,581	85,453		1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	2.19%
32	施設入所支援	2,391	113,109	304,533		1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	7.82%
33	共同生活援助	24,482	95,678	203,899	2.13	1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	5.24%
34	宿泊型自立訓練	210	3,314	2,785	0.84	1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	0.07%
41	自立訓練(機能訓練)	180	2,743	2,067	0.75	1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	0.05%
42	自立訓練(生活訓練)	1,092	10,761	9,052	0.84	1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	0.23%
45	就労継続支援A型	3,196	47,329	45,600	0.96	1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	1.17%
46	就労継続支援B型	11,506	194,331	363,517	1.87	1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	9.33%
52	計画相談支援	8,236	0	146,866		1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	3.77%
53	地域相談支援(地域移行支援)	2,855	0	4,834		1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	0.12%
54	地域相談支援(地域定着支援)	2,733	0	5,025		1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	0.13%
60	就労移行支援	2,887	29,350	73,728	2.51	1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	1.89%
61	自立生活援助	197	0	291		1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	0.01%
62	就労定着支援	966	0	4,915		1,932,069	858,669	1,104,099	3,894,838	0.13%
		117,337								

- (2)障がい児福祉事業において下記の事業種別が障がい者の利用率が高い特に、「放課後等デイサービス」は殆ど全ての障がい児が利用している。
- ①放課後等デイサービス(95.6%) ②児童発達支援(32.1%) ③障害児相談支援(15.4%) ④福祉型障害児入所施設(6.4%)

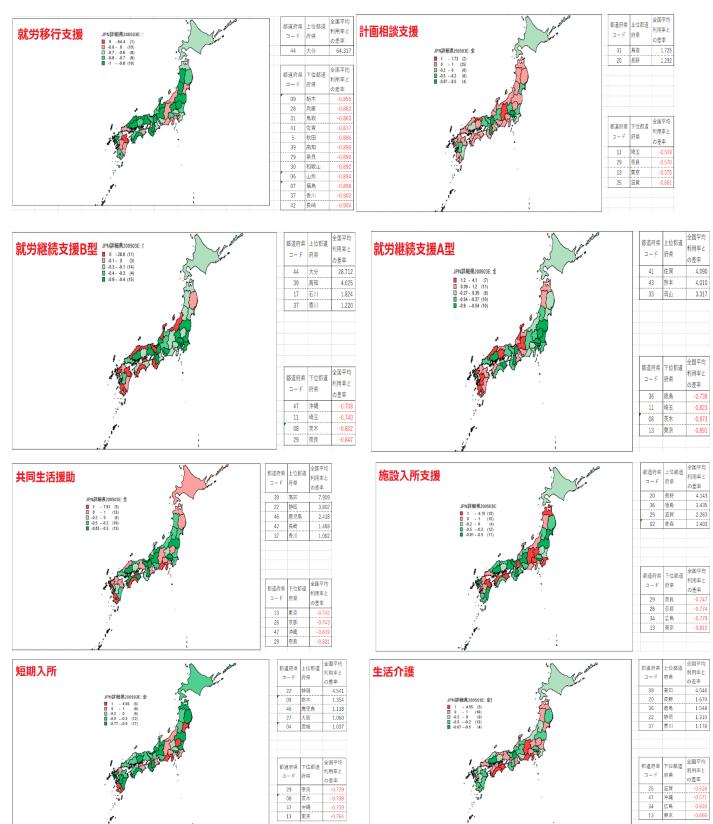
障がい児		ß	障がい児_事業所データ				推計障がい児数			
事業種別コード	事業種別名称	事業所数 2020年6月	利用定員 (C)	利用者実 人数(A)	回転率 A÷C	身体障がい児数	知的障がい 児数	精神障がい 児数	障がい児総 数(B)	利用率 (%) A÷B
63	児童発達支援	6,772	67,685	113,967	1.68	81,732	257,293	16,520	355,545	32.05%
64	医療型児童発達支援	85	2,032	1,077	0.53	81,732	257,293	16,520	355,545	0.30%
65	放課後等デイサービス	11,936	101,312	339,999	3.36	81,732	257,293	16,520	355,545	95.63%
66	居宅訪問型児童発達支援	100	0	28		81,732	257,293	16,520	355,545	0.01%
67	保育所等訪問支援	1,146	0	3,426		81,732	257,293	16,520	355,545	0.96%
68	福祉型障害児入所施設	219	6,302	22,747	3.61	81,732	257,293	16,520	355,545	6.40%
69	医療型障害児入所施設	183	14,062	6,490	0.46	81,732	257,293	16,520	355,545	1.83%
70	障害児相談支援	5,525	0	54,632		81,732	257,293	16,520	355,545	15.37%

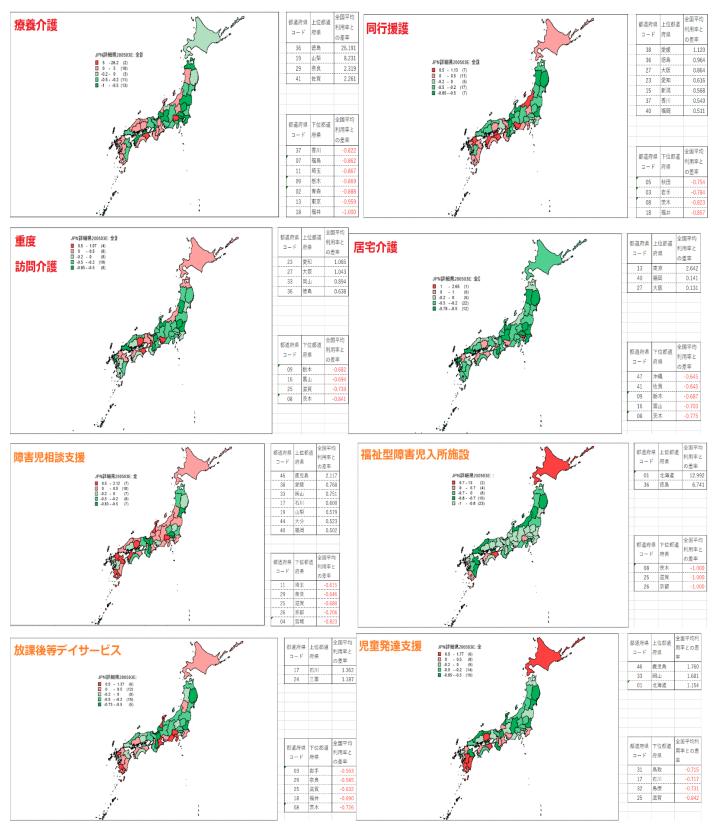
## 3. 主な障がい福祉事業種の全国平均に対する都道府県別充足状況 分析

主な障がい福祉事業種について、都道府県別に障がい児・者の施設利用率を求め、全国平均利用率との差の全国 平均利用率との比により、各都道府県の障がい福祉事業種別毎の全国平均と比べたサービスの充足状況を分析し た。

都道府県別の分析結果を障がい者事業所と障がい児事業所を都道府県別レンジ主題図にしました。

①障がい者事業所について、大阪府、徳島県の充足状況が良いこと。東京都、茨木県、奈良県の充足状況が悪い ことが読み取れます。





②都道府県別障がい福祉事業所の利用率が全国平均に比べてばらつきが大きいことから、障がい児・者に対する福祉サービスが未だ不足していることが覗えます。